

定額給付金 とは何ぞや？

定額給付金とは還付金による減税です

通常国会が開会し、平成20年度第二次補正予算の審議が始まりました。この第二次補正予算には、連日マスコミ等で取り上げられている定額給付金制度が含まれています。政府の説明不足もあり、今のところ残念ながら定額給付金制度に対する理解が進んでいるとはとても言えない状況です。それゆえ今回はあらためて定額給付金とはどのような政策なのかということについて考えてみたいと思います。

定額給付金とは何か？端的に言うと、今回の定額給付金とは、還付金による減税です。減税は、日本でも過去何度か採用されてきた政策です。景気対策として世界各国でも度々採用されています。アメリカのオバマ次期大統領も先日景気対策として2750億ドル、日本円にして約24兆円の大型減税を発表しました。オバマ次期大統領の減税案にも夫婦1世帯あたり1000ドルの還付金による減税が含まれています。

減税には大まかに分けて、「税率」を変更する方法と、「税額」を変更する方法があります。税率を変更する方法は、例えば、10%の消費税率を5%に変更するといった方法です。一方税額を変更する方法は、例えば所得税を納税者全員5万円ずつ安くするといった方法です。この方法では、100万円の所得税を納める人と10万円の所得税を納める人では、

(裏に続きます)

10万円の所得税を納める人の方が、減税の効果をより大きく感じます。

今回の定額給付金は、いわゆる「税額」を変更する減税です。そして今回の定額給付金制度は、納める税額を安くするのではなく、決められた減税額を現金で還付する減税方式を採用しています。今回、なぜ還付金による減税方式を採用したかということ、納める税額を安くする方式を採用した場合、減税額より納める税額が少ない納税者は、その恩恵をこうむることができません。つまり税額を安くする方式を採用した場合は、非課税の世帯、より生活支援が必要な低所得の世帯に対して減税の効果が及ばないという大きな問題点があるからです。

それゆえ今回、すべての世帯、すべてのご家庭に減税の効果が及ぶように現金還付による定額給付金という方法が採用されました。そして給付の対象をすべての国民にしたことで、子どもや高齢者に対するより手厚い支援になっています。また消費税のように子どもから高齢者まですべての国民が納税している税金に対する減税と考えることもできます。

この減税の効果は、低所得世帯に対する生活支援、そして冷え込んでいる消費を刺激する呼び水としての景気対策です。特に景気対策は、定額給付金を消費に回せば回すほどその効果が大きくなります。逆に貯蓄に回してしまうと消費刺激策としての効果は小さくなります。

もちろん今回の定額給付金だけで毎日の生活に困っている方々を救える訳でも、即座に景気回復に繋がる訳でもありません。政府与党は、今回の二次補正予算、そして来年度予算や税制改正を成立させ実行することで1年後、2年後そして10年後と持続的な経済成長を目指しています。しかし1年後に繋げるためには今を乗り切らなければなりません。今回の定額給付金は、明日につなげるための給付金なのです。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000

FAX:045(323)2974